

1

問1 A 郷挙里選 B 『五経正義』 C 朱子学 D 郷紳

問2 (ア) 九品中正（九品官人法）

(イ) 中央が任命した中正官が郷里の評判により地方の人材を9等級に評定して中央に推薦し、中央はそれにもとづいて官吏に登用した。

(ウ) 中正官と結びついた有力な豪族の子弟のみが高い官職を独占して中央政界へ進出し、豪族の門閥貴族化をうながすことになった。

問3 (ア) 則天武后 (イ) 周

問4 (ア) 節度使 (イ) 安祿山・史思明

問5 皇帝みずから行う殿試とよばれる最終審査を追加し、科挙出身の官僚が政府の中核を占めた。このような文治主義を推進することで、文官優位の政治体制と皇帝を中心とする君主独裁体制の確立につとめた。

問6 神宗により宰相に登用された王安石は新法とよばれる富国強兵の改革を断行した。しかし、改革を支持する新法党と司馬光を中心に新法に反対する保守派の旧法党との間の党争により国政が混乱した。

問7 東林派

※大学から発表があり、問題文中に「江蘇省無錫を拠点として、張居正の改革に反対した」と記載したことにより正確な題意が伝わらず適切に解答できない恐れがあることが判明したため、この問題を全員正解として扱うという措置がとられることになった。

2

問1 (ア) アジア系のフン人がドン川を越えて西へ進み、ゲルマン人の一派である東ゴート人の大半を征服し、さらに西ゴート人を圧迫したため。

(イ) 『ガリア戦記』・『ゲルマニア』

問2 (ア) キリスト教が国家権力と結びつくにつれ、司教などの聖職者が一般信徒を指導・監督するピラミッド型の階層制組織が成立した。

(イ) エフェソス公会議

問3 (ア) ヴァンダル王国・東ゴート王国

(イ) トリボニアヌスらにローマ法を集大成した『ローマ法大全』を編纂させ、ビザンツ

様式のハギア=ソフィア聖堂の建立に力を注いだ。また中国から養蚕技術を取り入れ、絹織物業発展の基礎を築いた。

- 問4 (ア) ムアーウィヤ・ダマスクス (ダマスカス)  
(イ) 全国を州に分け、地方の有力豪族を州の長官である伯に任命し、巡察使を派遣して伯を監督させることで広大な領土を集権的に支配した。

- 問5 (ア) インノケンティウス3世 (イ) ラテン帝国

- 問6 (ア) ハンガリー征服 (モハーチの戦い)・ウィーン包囲 (第1次ウィーン包囲)  
(イ) カルロヴィッツ条約

3

- 問1 (ア) ギリシア  
(イ) ムスタファ=ケマルはスルタン制を廃止してトルコ共和国を創建し、連合国とローザンヌ条約を結んで不平等条約の撤廃に成功した。

- 問2 (ア) フィウメ (イ) アルバニア  
(ウ) イタリア王国による教皇領の併合以来、国交断絶状態にあったローマ教皇庁と和解し、教皇庁をヴァチカン市国として独立させた。

- 問3 ブハラ=ハン国・ヒヴァ=ハン国

- 問4 (ア) ウクライナ・ベラルーシ (白ロシア)・ザカフカース  
(イ) 農業の集団化と機械化が命じられ、コルホーズとソフホーズの建設を強行した。抵抗する農民を逮捕・投獄し、生産物を強制供出させた。  
(ウ) 古くからの有力指導者や反対派に根拠のない罪状をきせ、大量に投獄・処刑して独裁権力をふるい、自身への個人崇拜を強めた。

- 問5 (ア) ローラット法 (イ) アムリットサル  
(ウ) 新インド統治法により州の統治をインド人に委譲して不完全な自治を認めたが、中央の財政・防衛・外交はイギリスが掌握し続けた。